

自主学習のすすめ<小学校 音楽科(例)>

生活や社会の中の音や音楽に豊かに関わる自主学習

音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するために、子供自身が、音楽の楽しさや美しさ等を感じ取るようにする。

<自主学習例>

1 様々な音楽を聴き、感じ取ったことと聴き取ったことを書く

【自宅学習支援コンテンツサイト（教育芸術社）】

このサイトでは、各学年の教科書の楽曲を聴くことができます。「春の小川」「おぼろ月夜」等、季節を感じさせる楽曲は、自主学習で聴いておくことが望ましいです。また、ただ聴くだけでなく、以下のようなワークシートを準備することによって、楽曲から何を感じ取り、聴き取ったかを自覚できるようにすることが大切です。

サイトにアクセスできない場合は、「みんなのうた」の楽曲等を聴くことも考えられます。

音楽科 自主学習 ワークシート（高学年用）

年 名前

いろいろな曲を聴いてみましょう。教科書の曲は、楽譜や、さし絵を見ながら聴きましょう。

◎聴いた曲（ ）

①この曲からどんなことを感じ取りましたか。自由に書いてみましょう。

(ヒント) 感じ取ったことを表す言葉 例

○○な感じ ○○な景色が思いうかぶ まるで○○が□□しているよう
やさしい 軽やか 元気が出る さみしい おだやか わくわくする 堂々とした など

②どこから、そんな感じが伝わってきましたか。何を聴き取りましたか。

(ヒント) 聴き取ったことを表す言葉 例

ゆったりしたテンポ 弾んだリズム なめらかな旋律 リコーダーの音色 重なる音
「○○○～」という歌詞 など

2 様々な音や音楽を楽しむ・音楽をつくる

【ミュージックリーチャーキッズ（ヤマハ） Music Blocks（学研）】

「ミュージックリーチャーキッズ」では、様々な楽器の仕組みや奏法を知ったり、楽器の活躍する楽曲を鑑賞したりすることができます。「お気に入りの楽器を見付けよう」と題し、気に入った楽器と理由を書くワークシートを作成すれば、その子供の音楽的な見方・考え方が反映されます。

「ミュージックリーチャーキッズ」は、様々な音やリズムを組み合わせたり重ねたりしながら音楽をつくり、再生することもできます。また、「Music Blocks」では、プログラミングによる音楽づくりを行うことができます。どちらも、楽しく簡単に何度も音楽をつくり変えることができるので、試行錯誤しながら「もっと○○にしたい」という思いや意図が生まれます。サイトを紹介するだけでなく、「オリジナルミュージックをつくろう」と投げかけるとよいでしょう。